

事前評価個表

整理番号	20
------	----

地域（地区）名	あき 安芸	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	高知県	対象市町村	あきし 安芸市ほか8市町村
事業実施期間	H30～H34（5年間）	事業実施主体	森林所有者、市町村、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、徳島県と境界を接する県東部に位置する。地区南部は、室戸岬を先端とした一つの岬地形の海岸段丘が発達し、土佐湾に面している。地区北部は1,400m級の山岳が連なり、急峻な地形を形成するが、南下に従い発達した海岸段丘によって緩地形を形成している。</p> <p>また、本地区の主要河川「奈半利川」をはじめとする各河川では、発電や灌漑用水等に豊富な水資源を利用している。</p> <p>本地区の森林の現況を見ると、民有林面積は70千haであり、うち人工林面積は41千ha（人工林率59%）となっている。</p> <p>齢級別では、V～Ⅹ齢級の人工林面積が16千ha（39%）、Ⅺ齢級以上の人工林面積が24千ha（59%）となっており、早期に間伐等の森林整備を実施し、あわせて本格的な収穫期を迎えた森林資源の有効活用を図る必要がある。</p> <p>これらの背景から本地区では、人工林の保育間伐や、森林資源の有効利用のための主伐・搬出間伐、主伐後の再造林等をバランス良く実施し、森林の多面的機能が確保された「健全な森づくり」を推進する必要がある。</p> <p>本地区では、各市町村が策定した森林整備計画より、水源の涵養や自然環境に配慮した森林整備を推進している。また、森林資源の適正管理、有効利用の観点から、森林経営計画の策定エリア拡大を推進し、施業地の集約化を進め、高性能林業機械等による生産性の向上を図り、生産コスト縮減及び間伐材等の有効利用拡大を目指している。</p> <p>本事業では、効率的な森林施業の実施に不可欠な路網整備と、森林経営計画等に基づく保育間伐・搬出間伐・再造林等の森林整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：1,513ha 人工造林、下刈、間伐等</p> <p>路網整備：7,000m 林業専用道</p> <p>総事業費：2,207,328千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 2.11</p> <p>（総便益（B）= 4,742,830千円、総費用（C）= 2,248,878千円）</p>
評価結果	<p>必要性：保有対象林分の分布状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：費用対効果分析結果からも、十分な効率性が確認される。</p> <p>有効性：森林の多面的機能の維持増進、森林資源の有効活用の観点から当該計画の有効性は高い。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

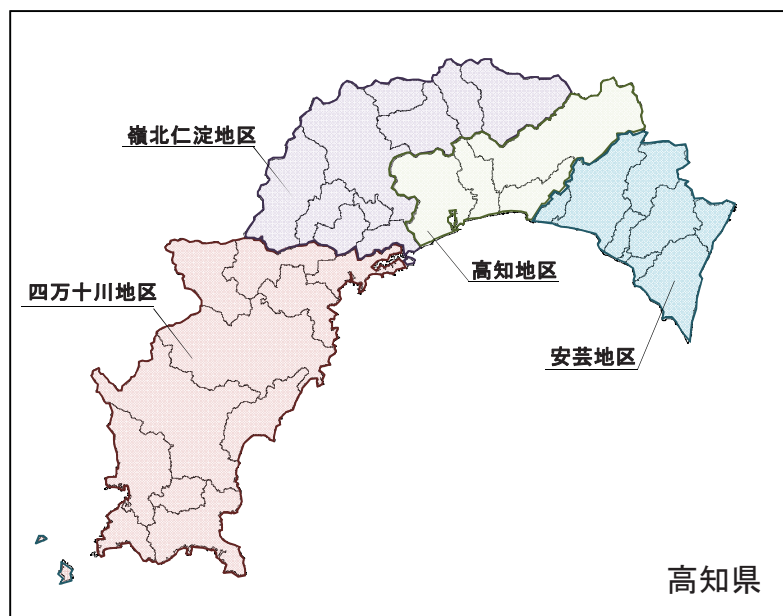
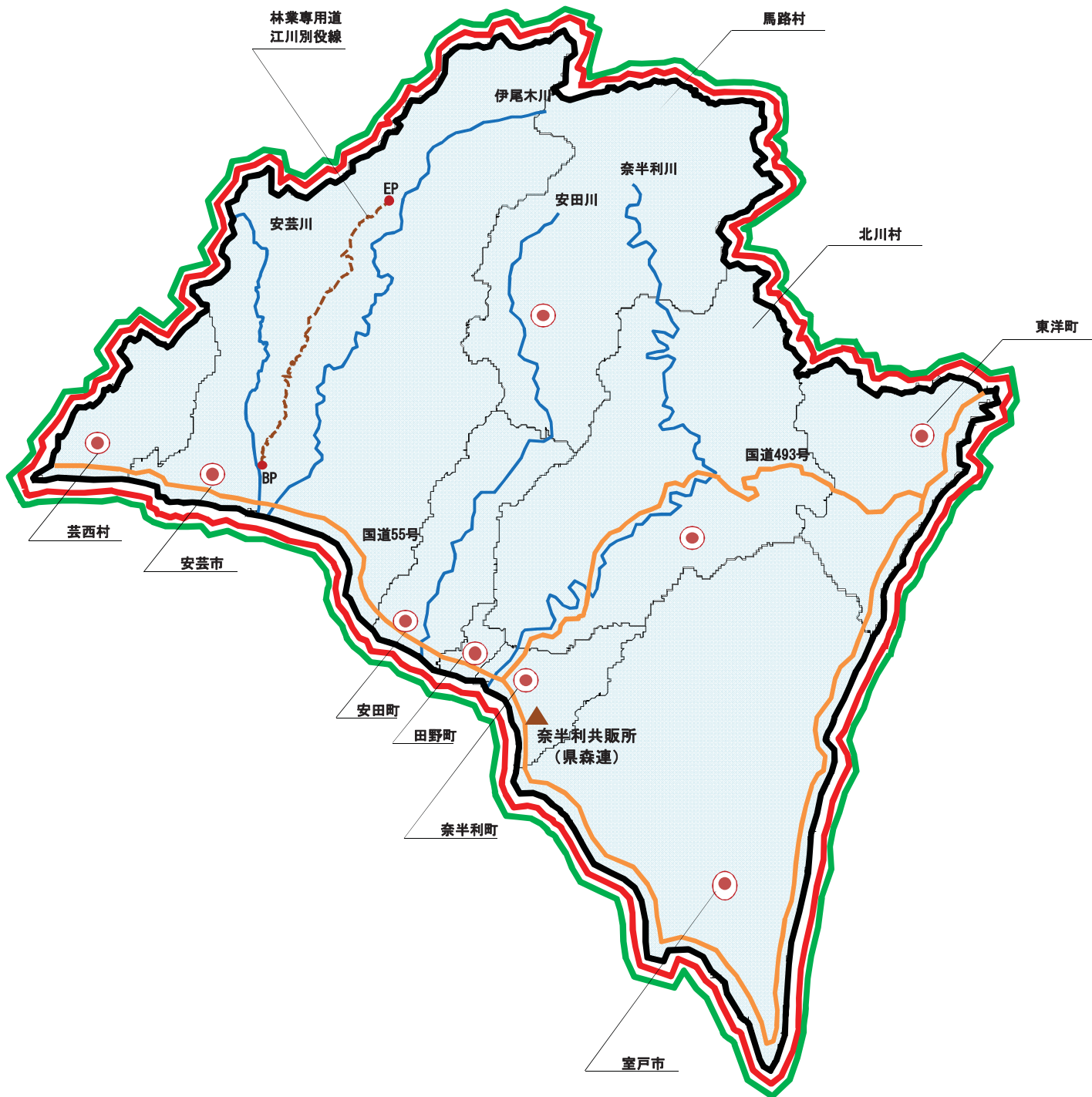
都道府県名: 高知県

地域(地区)名: 安芸

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	671,786	
	流域貯水便益	220,792	
	水質浄化便益	470,429	
山地保全便益	土砂流出防止便益	592,594	
環境保全便益	炭素固定便益	1,575,265	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	4,187	
	木材利用増進便益	11,978	
	木材生産確保・増進便益	395,241	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	800,558	
総 便 益 (B)		4,742,830	
総 費 用 (C)		2,248,878	
費用便益比	$B \div C = \frac{4,742,830}{2,248,878} = 2.11$		

森林環境保全整備事業 安芸地域(高知県) 概要図



凡例

計画区界	— (thick black line)
事業区界	— (thick red line)
森林整備区界	— (thick green line)
林業専用道	- - - (brown dashed line)
主要道路	— (orange line)
主要河川	— (blue line)
市町村役場	● (red circle)
木材市場	▲ (brown triangle)